



お茶の水女子大学
人間発達教育科学研究所 第1回国際セミナー

複雑性悲嘆： 喪失後ストレス障害？

Complicated Grief: A Post-Loss Stress Disorder?

無料・
事前登録不要です

日時

2016年

7月22日(金) 15:00～16:30

【場所】お茶大生活科学本館1階103会議室

講演

Thanh-Huy Eric Bui, MD,Ph.D.

(ハーバード大学医学大学院：
マサチューセッツ総合病院准教授)



【司会・進行】大森美香(お茶大教授)

愛する人の死は、残された者にとって非常に苦しく困難を伴うものです。多くの場合、激しい悲嘆や混乱は、数週間から数ヶ月で治まります。一方で、悲嘆をのりこえられず数年もの間、激しい悲嘆や機能障害を経験する場合があります。この状態は、複雑性悲嘆(Complicated Grief)とよばれ、深刻な症候群ととらえられています。精神障害診断マニュアル(DSM-5)では、「持続性複雑死別障害」として記載されています。講演では、複雑性悲嘆の識別・治療・予防に関する最新の研究についてお話しいただきます。

【お問い合わせ】

お茶の水女子大学 人間発達教育科学研究所
E-mail : ORC-HDE@cc.ocha.ac.jp